



様 様 様

前略

失礼いたします。何よりもまず、■■■■さんの心を傷つけましたことを心から深くお詫び申し上げます。■■■■さんの痛みは、ご家族の痛みであるゆえ、ご家族の皆様にもお詫びいたします。

1

今から一八年前の一九八七年三月、■■■■さんへの英語教室最終日、間もなく京都の教会に異動する事を告げたとき、立っていた私の胸に飛び込んでこられました。二人ともバランスを失いソファーに倒れこんでしまいました。その際、私の片手がズボンの上から■■■■さんの性器に触れました。私はすぐさま振り解こうとせず、その手を放置しました。かようにして衣類の上から■■■■さんの性器に触れました。そのことを深く謝罪いたします。

さて、裁判も私の敗訴で結審し、損害賠償金授受手続きも終え、牧師職を辞任し無職に至った今、和解のお願いを申し上げます。何卒宜しくお願い申し上げます。和解したからとて私が現職牧師に復帰する可能性は皆無であろうことを付記いたします。たとえ望んでも教区主教の許可と教区常置委員会の同意がなければ復職は叶えられません。私としては、ただただ和解をしていただきたいと願う次第です。

遅ればせながら送信申し上げます。

2

末筆ながらご健勝をお祈り申し上げます。

二〇〇五年一月二五日

原田文雄

